

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月5日

北海道教育委員会教育長 様

北海道帯広養護学校長 鈴木 隆 宏 

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

児童生徒一人一人の障がいの状態や特性、発達段階等を踏まえた授業力及び実践力の向上に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教職員	• 全体の評価としては、平均点が3.0以下の項目が2項目(時間外勤務の縮減【No.2】)、キャリア教育の視点からの進路指導の充実【No.13】)があるが、他の平均点は3.0以上となっており、おおむね高い評価となっている。 • 昨年度と今年度の平均点を比較すると、評価が上がっている項目が8つ(No.1、2、3、5、7、10、14、16)があるが、全体的に評価は下がっている。 • キャリア教育の推進、系統的な進路指導について課題意識があるとの結果となっている。	• 障がいの重度・重複化に対応する授業づくりでは、子供の実態(障がい特性・発達段階等)を把握することが大切となる。また、指導の積み上げには遅効性があることを考慮することも必要である。 • 教育課程の編成においては、12年間の系統性と確かな接続(小学部・中学部・高等部の引継)が大切になると考える。 (学校運営協議会委員)
改善方策	• 高い得点の項目については、教職員が高い意識をもって取り組んでいる内容だと考えるので、引き続き進めていきたい。 • 小・中・高の系統性のある教育課程、計画的かつ系統的な進路指導、地域資源(人的・物的)を活用した教育活動の充実については、学校運営協議会における学習活動の改善に係る熟議をとおして、地域と連携・協力した教育活動の更なる充実と進路指導の充実を図る。 • 働き方改革の推進に向け、本校の課題である「業務の偏り」「業務時間や量の多さ」「協力・協働・組織的な対応ができていない」ことについて、学校経営方針の重点実践事項に設定し、課題の改善に努めていきたい。	
保護者	• 全体の評価としては、PTA活動(No.16)の平均点が2.97となっているが、他の平均点は3.0以上となっており、おおむね高い評価を得ている。 • 評価項目の中で「分からない」とう回答が2項目(安全・安心な学校【No.6】、PTA活動【No.16】)で20世帯を超えている。 • 授業や学校行事を参観する機会が少ないことや連絡ノート、学級通信などでの情報発信の不足、PTA活動の情報提供や報告不足が要因として考えられる。	• 「安全・安心」や子供たちの学びを支えるにあたり、子供理解(障がい特性・発達段階・生活)及びの施設・設備等の環境整備は必要だと考える。教員の資質・能力の向上と施設・設備の改善に向けて引き続き取組を進めていく必要があると考える。 (学校運営協議会委員)
改善方策	• 学校ホームページの定期的な更新、学年通信(学級通信)の内容の充実を図り、保護者や地域に向けての「可視化できる」「分かりやすい」「タイムリーな」情報の発信に努める。 • PTA活動の創意・工夫と、会員のニーズに応える内容の検討など、会員が参加しやすく魅力あるPTA活動の推進に努める。	
公表方法	• 保護者への配付 • 本校ホームページへの掲載 • 学校運営協議会における評価結果の提示	

3 添付資料

- 令和6年度 学校自己評価集計結果<教職員>
- 令和6年度 学校評価保護者アンケート集計結果<保護者>